

2020年 年間テーマ

「共に育つ」
～メンバーもリーダーも共に育つ
コーチング～

【活動休止】

コロナ禍の影響を受けて一年間活動休止。これをきっかけに数名のコアメンバーの退会者が出る。



退会者が出て、この先どうしようかと15回の
ミーティングを実施

【新生京都チャプター】

京都チャプターの活動再開に向けて、繰り返し議論を重ねた結果、「新生京都チャプター」として再活動することを決定。

【基本理念だけ残す】

変えてはいけないものとして、「基本理念」だけを残し、定款、規則、運営のあり方等々の見直しをはかり、新しい運営委員を募る。

【大切にしていきたいこと】 ～正会員と共に～

「基本理念」のもとに正会員と共に、新生京都チャプターを創りあげていく事を決意する。



方向性の合意を3人で共有した瞬間

日本コーチ協会 京都チャプター基本理念

- ・会員同士が相互理解し、自己探求する場を提供します。
- ・社会のニーズにあったコーチング諸技法について研究します。
- ・本人・家族・企業・地域社会など多方面の公益の増進に貢献します。

【運営委員の行動特性】

運営委員の行動特性を標榜し、 思いを共有してくれる仲間と京都チャプターを 創りあげていくと決意。

1. アカンタブルな姿勢の維持・向上
責任を自ら主体的に引き受ける。受動的でヴィクティムな立場は選ばない。
2. 強固なパーソナルファウンデーションの維持・向上
健康・人間関係・時間・経済等における未完了や妥協を完了している。
3. ICF が定めるコア・コンピテンシーの理解・実践
日本コーチ協会京都チャプターが行う学習プログラム、イベント、ワークショップは、国際コーチング連盟の認定資格更新に必要な学習単位として認められている。
4. 最新のコーチング学習やトレーニングの受講努力
体系的で継続的なコーチの健全な育成を通して、時代の変化に先んじて対応する。
5. コーチの資格取得・保持
日本コーチ協会、国際コーチング連盟の会員として、社会的信頼の向上に努める。

特に大切に共有していきたい2項目

9. 運営委員間における相互扶助

仲間の成長のために、愛と寛容と忍耐をもってチームビルディングに寄与する。

10. 京都チャプターに対する高い貢献意識とそれに伴う行動変容

コーチング「を」学ぶのではなく、コーチング「に」学ぶ。京都チャプターのビジョンやゴールを共有し、「割り当てられた職務の遂行」「他の運営委員へのサポート」「会員に対するサービス」等の奉仕活動を通して成長する。